

## 札幌市の素案に対する意見のまとめ（文化・人づくり分科会）

項 目		意 見 内 容	委 員 の 具 体 的 意 見
素 案 全 体		【望ましい街の姿に相当する部分】 「生きる哲学」という言葉を盛り込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然との共生の中で夢を語り、描き、奏で、個性溢れる文化活動、スポーツを育み、世界に発信する街、札幌を表現していこう」(高田委員)</li> <li>・「今こそ私たちの時代の責任において、未来思考を重ね合わせて老若男女みんなで人づくり&amp;自分づくり、生きる力の自己実現にむかって努力をしよう」(高田委員)</li> </ul>
各重点戦略課題について	芸術・文化の薫る街の実現	芸術・文化には質の高いものと市民レベルの小さな表現活動があり、それをはっきり分かるよう区別して表現する。 芸術・文化には「多様性」が大切だということを強調する。 鑑賞することと表現(活動)することを区別して表現する。 伝統文化とは区別して、「先住民族文化」あるいは「アイヌ(民族)文化」と表記する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)戦略課題に相当する部分で、「お互いの異文化について認めあい、広く人間としての誇りを失わず、高めていくことに大きな意義がある」(高田委員)</li> <li>・芸術・文化の多様性を分かりやすく説明するために「大きいものから小さいものまで多様な(に)」という言葉盛り込みたい。(中島委員)</li> <li>・アートやクラシック音楽分野以外の映画、演劇、コンサートなどの芸術・文化や市民レベルの表現活動などについても、きちんと触れてほしい。(中島委員)</li> </ul> <b>【各主体の主な役割】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人たちにできるだけ場をつくっていくという意味で「表現活動」や「多様な場づくり」を盛り込みたい。(中島委員)</li> </ul>
	スポーツの魅力あふれる街の実現	【現状と課題】 「競技中心から身近で気軽に楽しめるものへ」とあるが、もう少し具体的な言葉で表現する。	<b>【各主体の主な役割】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の役割として、見る楽しみだけでなく「やる楽しみ」ということを強調したい。(中島委員)</li> </ul>
	自立した市民に育てる教育の推進	【施策の基本方針】 スポーツにおける札幌ブランドとして冬のスポーツを考える。 「企業」や「職場」が、家庭の子育てや子どもの教育に大きなかわりを持つため、ビジョンの中に文言で盛り込む。 子どもと地域の高齢者との交流の有益性・必要性について盛り込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクールが、不登校などに対する取り組みを担っていることに触れるべきではないか。(杉森委員)</li> </ul>
		【各主体の主な役割】 主体としての「学校」を「行政」から分離する。 子どもは「社会全体」ではなく「地域」で育てるとする。	
		【施策】 不登校などに対する取り組みの推進主体が、学校、家庭、地域の3つであることに触れる。	<b>【施策の基本方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題から、この基本方針が導き出される論理構成が分からない。表現を検討すべき。(大沼委員)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考力、判断力、表現力などの確かな学力」とあるが、「学力」は「能力」とすべきではないか。(飯塚委員)</li> </ul>
	さっぽろを支え、発信する人づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際都市札幌」にふさわしい市立大学を設置するという位置づけを明確にすべき。(中島委員)</li> </ul> <b>【施策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立大学に「将来的に世界から留学生が集う、札幌ならではの先住民族学科の設置も検討を始める」という施策を追加したい。(中島委員)</li> </ul>
成果指標について			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツをする」という判断は主観的で個人差が大きいので、客観的に判断できる施設利用者数など具体的に実数をとれる指標を設定したほうがいい。(大沼委員)</li> <li>・不登校とは年に30日以上欠席をいうが、子供の実態、欠席の原因は様々で、一律に目標値を何%減ととらえることは難しいため、新たな指標を設定することも検討してはどうか。(臼井委員)</li> <li>・指標項目の中には、何を基本にして出したのか疑問なものもある。(杉森委員)</li> <li>・指標をとれない文化とかスポーツもあるので、アカウントビリティ(市民に情報を開示し、納得できるように十分説明する義務と責任)のとり方も今後検討していかなければならない。(大沼委員)</li> <li>・長期的な取り組みについても、その成果が見られるような指標や評価のシステムを考えなければならない。(臼井委員)</li> </ul>

注:「意見内容」欄は分科会として合意した意見、「委員の具体的意見」欄は分科会の合意には至らないが委員の個別意見として示されたもの